



あなたの「ポチる」の裏側で。

2026年2月、世界の海で今起きていること。

世界をつなぐ「見えないバトンリレー」



- ネットショッピングの魔法のタネ明かし。
- 私たちが使うモノの99%は「海の道」を通ってやってくる。
- 今日は、この巨大なリレーの「今の調子」をニュース形式で見てください。

LIVE

2026年2月16日の「海の天気予報」

【今の状況】

例年ならお正月（春節）明けで忙しい時期。

【今年の異変】

なぜか「荷物が少ない」。世界的にモノの移動が少し休憩モードに入っています。

【判定】

需要の弱さが鮮明（ピークが来ていない）。

ニュース①：船の「チケット代」が安くなっている？



コンテナ運賃の下落トレンド（5週間連続）



- ・ 現象: コンテナを運ぶ料金が5週間連続で下がっています（1,933ドル／40ftコンテナ）。
- ・ なぜ?: テーマパークにお客さんが少ないと、チケットが安くなるのと同じ。
- ・ 意味すること: 世界中でモノを買う動きが少し落ち着いています。

ニュース②：お客さんがいないバスは走らない

■ アライアンス毎のblankセーリング（欠便）動向

SHIPPING SCHEDULE

OCEAN VOYAGER

PACIFIC STAR

GLOBAL FREIGHTER

MARINE EXPRESS

HORIZON CARRIER

WORLD CONNECTOR

STARLINE TRANSPORTER

ORIENT GIANT

運休

運休

運休



キャンセル（運休）

16%

運航

向こう5週間で
約16%がキャンセル

- ・ 専門用語: blankセーリング（欠便）
- ・ わかりやすく言うと: 「計画運休」。乗客（荷物）が少ないため、船会社は船を出すのをキャンセルしています。
- ・ データ: 向こう5週間で、予定されていた船の旅の約16%がキャンセルになりました（704便中112便がお休み）。

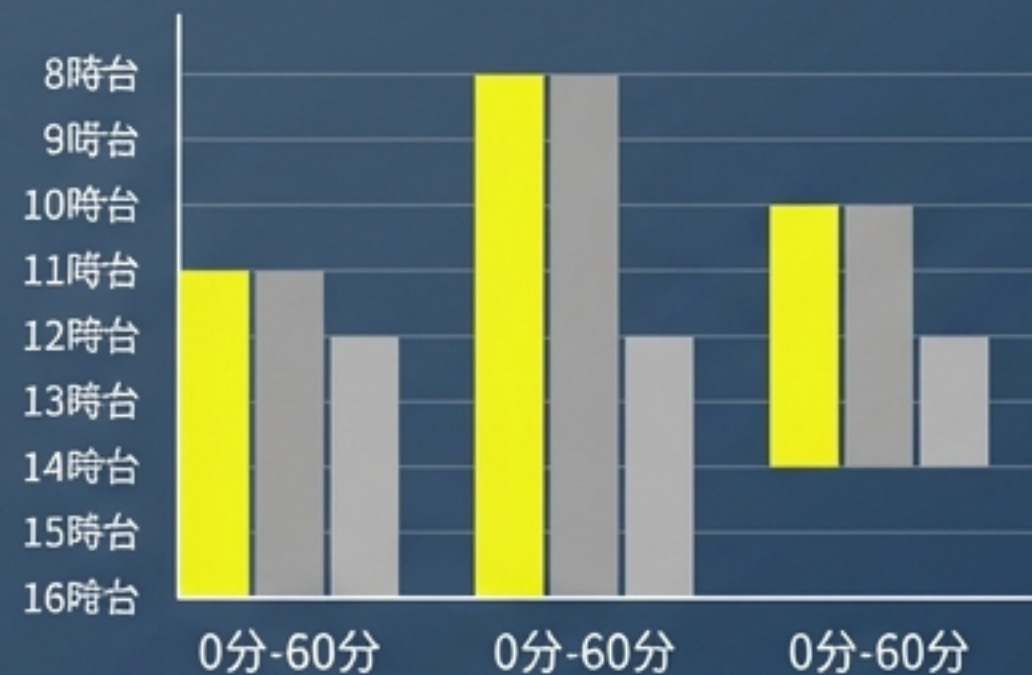
ニュース③：船が減ったのに「海の渋滞」？



- ・ パラドックス: 走る船は減ったはずなのに、港の前では**順番待ちが発生中**。
- ・ 場所: 上海や寧波（ニンポー）などの主要な港。
- ・ 理由: **悪天候**（霧や強風）や、前の時期の荷物がまだ片付いていないため。
- ・ 例え: 「高速道路は空いているのに、料金所の前だけ**大渋滞**」している状態。

一方、日本の玄関口（東京港）は？

- ・今の状況: 混雑は緩和されていて、スムーズです。
- ・データ: トラックの待ち時間は、多くの時間帯で「0分～60分」以内。
- ・リレーの状況: 海を渡ってきたバトンは、無事に日本の陸地に到着しました。



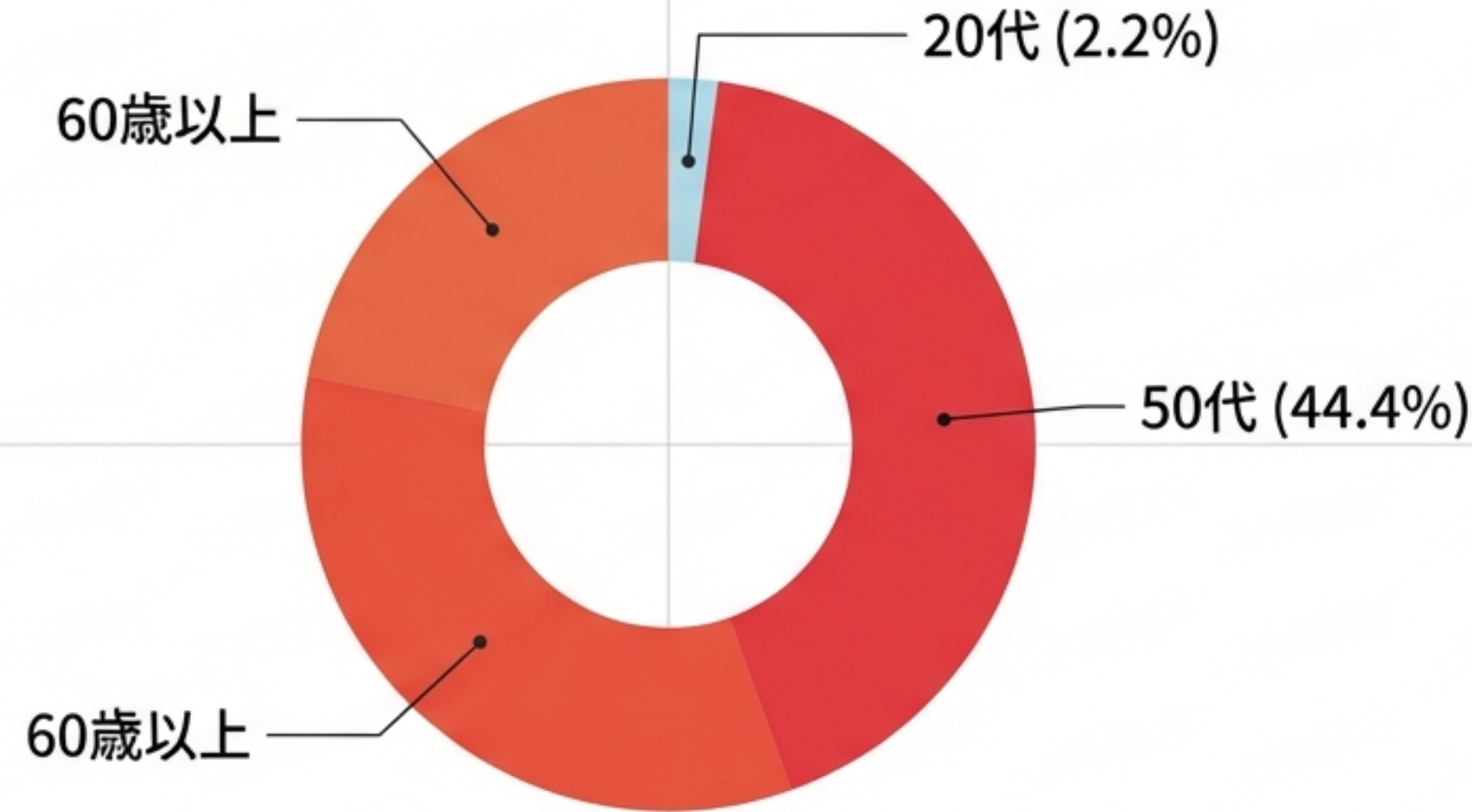
順調
SMOOTH



バトンは「船」から 「トラック」へ

- ・港に着いただけでは、荷物は届きません。
- ・ここからは、日本の道路を走るプロフェッショナルたちにバトンタッチ。
- ・しかし、この「最後の区間」で今、大きな問題が起きています。

日本の危機：リレー走者の高齢化



- 衝撃のデータ: 海上コンテナを運ぶ運転手の半分以上が50歳以上です。
- 若手不足: 20代の運転手は、たったの2.2%しかいません。
- 2024年問題のその後: ベテラン走者が重いバトンを運び続けていますが、次の走者が足りていません。

なぜ若い人が入ってこないの？



お金がかかる



時間がかかる

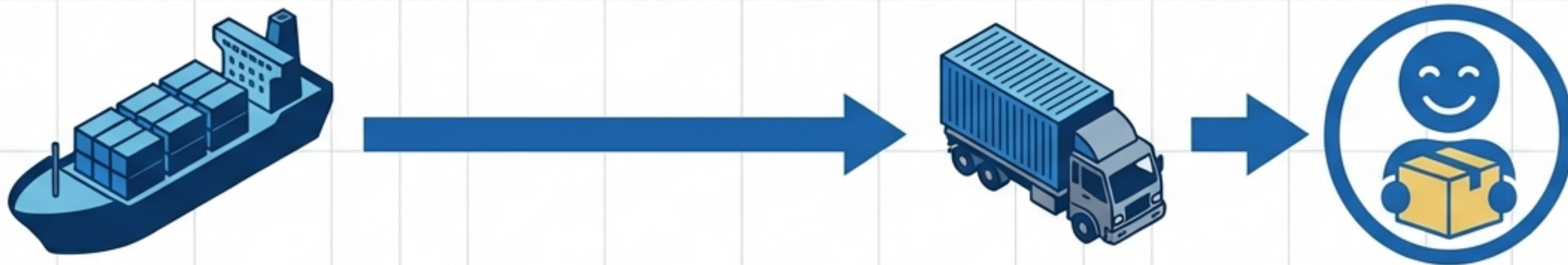


過酷な環境

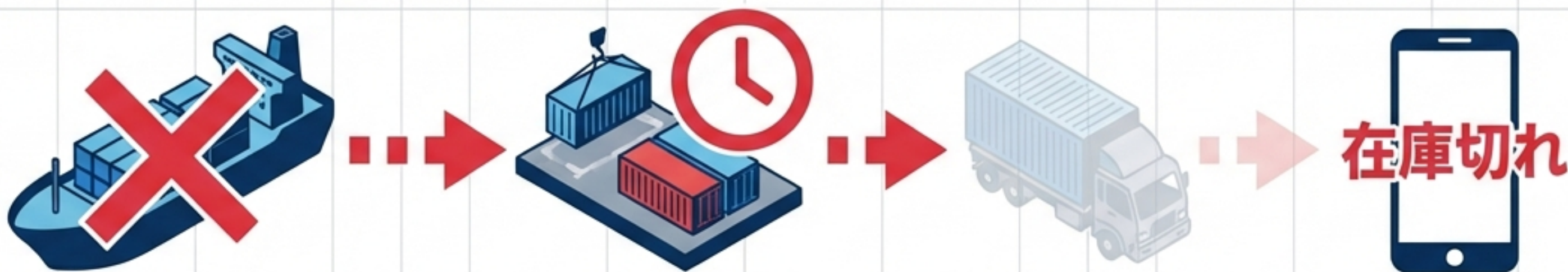
- 高いハードル: 大型免許とけん引免許が必要で、取得にお金と時間がかかる。
- 過酷な環境: 港での長い待ち時間（給料が出ない時間）や、厳しい労働条件。
- 結果: 「なり手」がいなくなり、このままだと荷物が運べなくなる未来が近づいています。

このニュースは、あなたの生活にどう関係する？

理想
(Ideal)



現実
(Current)



- ・ 影響1: 欲しい新作のスニーカーやゲーム機が、発売日に届かない（在庫切れ）。
- ・ 影響2: 「送料無料」が当たり前じゃなくなる（送料の値上げ）。
- ・ 結論: 遠い海の向こうのニュースは、私たちの「便利」と直結しています。



想像力を広げよう

次に「ポチる」とき、そのボタンの向こう側を想像してみてください。
荒れた海を越える船、混雑する港、そして商品を運んでくれるおじちゃんドライバーのこと。
「届く」ことは、当たり前ではなく、奇跡のようなリレーの結果なのです。

